

ACM ICPC 2012 [国内予選問題 C](#) 「偏りのあるサイコロ」

- この問題を解くためには、サイコロを倒せる方向と、倒した時のサイコロの状態(サイコロの上面と前面の数値)を知る必要がある。
- 倒せる方向は、{4, 5, 6}の面の方向であるが、{4, 5, 6}の内一つは上面または底面にくるので、倒せる方向の可能性は2通りしかない。その2通りのうち、大きい数値の面が優先される。これより、倒す側の面の数値の候補は次のようになる。

上面数値	1	2	3	4	5	6
第1候補	5	6	6	6	6	5
第2候補	4	4	5	5	4	4

第1候補 = (上面 == 1 || 上面 == 6) ? 5 : 6

第2候補 = (上面 == 3 || 上面 == 4) ? 5 : 6

- 倒す方向は以下のように求めることができる。
 - ◆ 前面の数値 = 倒す面の数値 ⇒ 前へ倒す
 - ◆ 前面の数値 = 7 - 倒す面の数値 ⇒ 後へ倒す
 - ◆ 上記以外の場合、右または左へ倒すことになる。
- ① 上面の数値が同じで、全面の数値が3以下か4以上のいずれかの場合、倒す方向が第1候補か第2候補かで左右が変わる。

	後	
左	上	右
	前	

	4				5	
2	1	5	⇔	4	1	3
	3				2	
前面3以下						
	3				2	
5	1	2	⇔	3	1	4
	4				5	
前面4以上						

- ② 上面の数值が同じで、倒す方向の候補(第 1 候補か第 2 候補)も同じ場合、前面の数值が 3 以下か 4 以上かにより倒す方向の左右が変わる。

	4						3	
2	1	5	⇔	5	1	2		
	3				4			
第1候補								
	5					2		
4	1	3	⇔	3	1	4		
	2				5			
第2候補								

- ③ 倒す方向の候補(第 1 候補か第 2 候補)が同じで、前面の数值が 3 以下か 4 以上のいずれかの場合、上面の数值が偶数か奇数かにより倒す方向の左右が変わる。

第1候補+前面3以下の例								
(上段=上面が奇数、下段=上面が偶数)								
	4				5			
2	1	5		1	3	6		1
	3				2			3
	4				5			
6	2	1		6	4	1		4
	3				2			3

これらより、右に倒れるのは、(第 1 候補 ⊕ 上面 = 奇数 ⊕ 前面 ≤ 3) が 1 の時で、それ以外の時は左に倒れる。

- 回転前のサイコロの上面と前面の値を各々 T, F とする。回転後のサイコロの上面と前面の値を各々 T', F' とすると、T', F' は回転方向に応じて以下の表のようになる。

回転方向	前	後	右	左
T' =	B = 7 - F	F	L = 7 - R = 7 - 倒す面の数值	R = 7 - L = 7 - 倒す面の数值
F' =	T	7 - T	F	F

※ 右または左へ倒す場合 $T' = 6 - \text{MIN}(T, 7 - T) - \text{MIN}(F, 7 - F)$ で計算出来る。

∴ 倒す方向の面の数值の裏側の数值が上面に出てくるが、倒す方向の面の数值は 4 以上なので、上面に出てくる数值は 3 以下である。また、上面、前面、それらの裏側の面は、上面には出てこない。

- サイコロの転がり状況は2種類のマップを用いて管理
 - ◆ マップ A: その位置に既に置かれているサイコロの個数
 - ◆ マップ B: その位置の一番上のサイコロの上面の数値
- ※ 倒す方向の位置に置かれているサイコロの個数が現在の位置のサイコロの個数より少なければ、そちらの方向に倒すことができる。
- ※ サイコロの個数は100以下なので、マップとしては200x200の2次元配列を用い、サイコロは(100, 100)の位置に置くものとする。

【プログラム例】

```
// ACM ICPC 2012 国内予選問題 C
// http://www.cs.titech.ac.jp/icpc2012/icpc2012-mondai/icpc2012/contest/C_ja.html
// Filename = pc.c
// Compile : cc pc.c
// Execution : ./a.out < C0 > C0.result
// Check : diff C0.ans C0.result

#include <stdio.h>

#define MAX(a,b) ((a)>(b) ? (a) : (b))
#define MIN(a,b) ((a)<(b) ? (a) : (b))
// 方向の定義
#define F 0 // 前
#define R 1 // 右
#define B 2 // 後
#define L 3 // 左

// サイコロの状態を表す構造体
typedef struct {
    int top; // 上面の値
    int front; // 前面の値
} state_t;

int map[200][200]; // 各位置に置かれているサイコロの個数
int tv[200][200]; // 各位置の最上面の値
int count[6]; // 上からメイル数値を数えるための配列
// 倒す方向に伴う座標の増減値
int dx[] = {0, 1, 0, -1};
int dy[] = {-1, 0, 1, 0};

// 第1候補の倒す方向を求める。s = サイコロの状態
int get_dir1(state_t s)
{
    int num; // 倒す方向の面の数値
    num = (s.top==1 || s.top==6)?5:6;
    if(s.front == num) return F; // 倒す面の数値=前面の数値 → 前
```

```

if((7-s.front) == num) return B; // 倒す面の数値=後面の数値 → 後
if(s.top%2){ // 上面の数値が奇数で
    if(s.front <= 3) return R; // 前面の数値が3以下 → 右
    else return L; // 前面の数値が4以上 → 左
}
else { // 上面の数値が偶数で
    if(s.front <= 3) return L; // 前面の数値が3以下 → 左
    else return R; // 前面の数値が4以上 → 右
}
}

```

// 第2候補の倒す方向を求める。s = サイコロの状態

```

int get_dir2(state_t s)
{
    int num; // 倒す方向の面の数値
    num = (s.top==3 || s.top==4)?5:4;
    if(s.front == num) return F; // 倒す面の数値=前面の数値 → 前
    if((7-s.front) == num) return B; // 倒す面の数値=後面の数値 → 後
    if(s.top%2){ // 上面の数値が奇数で
        if(s.front <= 3) return L; // 前面の数値が3以下 → 左
        else return R; // 前面の数値が4以上 → 右
    }
    else { // 上面の数値が偶数で
        if(s.front <= 3) return R; // 前面の数値が3以下 → 右
        else return L; // 前面の数値が4以上 → 左
    }
}

```

// 指定した方向へ倒した後の状態を求める。s = サイコロの状態, dir = 倒す方向

// 戻り値: 倒した後のサイコロの状態

```

state_t next_tf(state_t s, int dir)
{
    state_t ns; // 倒した後のサイコロの状態
    switch(dir){
    case F: // 前
        ns.top = 7 - s.front;
        ns.front = s.top;
        break;
    case B: // 後
        ns.top = s.front;
        ns.front = 7 - s.top;
        break;
    default: // 左 or 右
        ns.front = s.front;
        ns.top = 6 - MIN(s.top, 7 - s.top) - MIN(s.front, 7 - s.front);
    }
    return ns;
}

```

```

int main()

```

```

{
int n;                //サイコロの個数
int i,j;
int x,y;             //サイコロの位置
int dir;            //倒す方向
state_t s;          //サイコロの状態

while(1){
scanf("%d", &n);    //サイコロの個数を読み込む
if(n==0) break;    //0なら終了
for(i=0; i<200; i++){ //2次元配列 map と tv の初期化
for(j=0; j<200; j++){
map[i][j] = 0;
tv[i][j] = 0;
}
}
for(i=0; i<n; i++){ //サイコロのデータを n 回読み込む
scanf("%d %d", &s.top, &s.front); //上面と前面の値を読み込む
x = y = 100; //最初に置く位置は(100,100)
if(map[x][y] == 0){ //その位置にサイコロがなければ(最初のサイコロ)
map[x][y] = 1; //その位置のサイコロの個数を 1 とし
tv[x][y] = s.top; //その位置の最上面のサイコロの値をセット
continue; //次のサイコロの処理へ
}
//サイコロの転がりをチェック
while(1){
dir = get_dir1(s); //倒れる方向の第1候補を求める
if(map[x][y] > map[x+dx[dir]][y+dy[dir]]){ //その方向へ落下可能なら
x = x + dx[dir]; y = y + dy[dir]; //その方向へ落下させた後の座標を計算
s = next_tf(s, dir); //その時のサイコロの状態を求める
continue;
}
dir = get_dir2(s); //倒れる方向の第2候補を求める
if(map[x][y] > map[x+dx[dir]][y+dy[dir]]){ //その方向へ落下可能
x = x + dx[dir]; y = y + dy[dir]; //その方向へ落下させた後の座標を計算
s = next_tf(s, dir); //その時のサイコロの状態を求める
continue;
}
//サイコロはこれ以上落下しない
map[x][y]++; //その位置のサイコロ数を 1 増やす
tv[x][y] = s.top; //その位置の最上面の値を更新
break;
}
}
for(i=0; i<6; i++){ //最上面の値を求める配列を初期化
count[i] = 0;
for(i=0; i<200; i++){
for(j=0; j<200; j++){
if(tv[i][j] == 0) continue; //その位置にはサイコロが無い
count[tv[i][j]-1]++; //その位置の最上面の数値の個数を 1 増やす
}
}
}
}

```

```
    }  
    for(i=0; i<5; i++)  
        printf("%d ", count[i]);  
    printf("%d\n", count[5]);  
}  
}
```

// 結果を出力